

第1号様式（第4条関係）

地球温暖化対策計画(作成)（変更）報告書

2025年 7月 31日

(宛先)
戸田市長

提出者

東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目33-8サウスゲートビル新宿6階7階
株式会社JR東日本クロスステーション
代表取締役社長 西野 史尚
〔個人事業者にあつては、住所及び氏名〕

7年度の地球温暖化対策計画を(作成)（変更）したので、戸田市地球温暖化対策
条例第8条第3項（第6項）の規定により、次のとおり提出します。

業種名	食料品製造業	番号	09
化石燃料等使用量	前年度の化石燃料等使用量の原油換算の合計量 2,223 kL/年		
変更の場合	変更年月日	年 月 日	
	変更の理由		
連絡先	所属部署	統括本部	
	職・氏名		
	電話番号		
備考			

- 注 1 作成・変更の別及び提出の根拠となる条項については、○で囲むか、二重線で消すことにより特定すること。
2 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
(※) 化石燃料等使用量の原油換算合計量及び温室効果ガス（CO₂換算）総排出量に係る算出資料を添付すること。

地球温暖化対策実施状況報告書

2025年 7月 31日

(宛先)
戸田市長

提出者

東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目33-8サウスゲートビル新宿6階7階
株式会社JR東日本クロスステーション
代表取締役社長 西野 史尚
〔個人事業者にあつては、住所及び氏名〕

6 年度の地球温暖化対策計画の実施の状況について、戸田市地球温暖化対策

条例第8条第4項の規定により、次のとおり提出します。

業 種 名	食料品製造業	番 号	09
化石燃料等使用量	前年度の化石燃料等使用量の原油換算の合計量 2,223 kL/年		
温室効果ガス (CO ₂ 換算) 総排出量	3,567 t-CO ₂ /年		
温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況			
連 絡 先	所 属 部 署 統括本部 職 ・ 氏 名 電 話 番 号		
備考			

- 注 1 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
2 化石燃料等使用量の原油換算合計量及び温室効果ガス（CO₂換算）総排出量に係る算出資料を添付すること。

7年度

事業所の戸田市地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

特定事業者の名称	株式会社JR東日本クロスステーション						
代表事業所名	株式会社JR東日本クロスステーション フーズカンパニー弁当事業部戸田工場						
代表事業所所在地	戸田市美女木東1丁目6番1号						
原油換算エネルギー使用量 (kL)	年度	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)
	使用量	1,673	1,497	1,440	1,990	2,223	0
産業分類名 (中分類)	食料品製造業						
分類番号 (中分類)	09						
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、敷地面積、延べ床面積等)	弁当、惣菜、パン、麺等の製造並びに調理用食材等の供給 人員606名(2025年6月時点) 総敷地面積7,322.37㎡ 述べ床面積9,386.37㎡						

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標 (令和7(2025)年度まで)

計画期間		令和2 (2020)	年度	～	令和7 (2025)	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量 5915	t-CO ₂	基準となる原単位 0.5608	t-CO ₂ /	
	平成16年から平成18年のエネルギー起源CO ₂ 発生量平均値 (5915 t / CO ₂) に対し、令和2年から令和7年の5年間累計エネルギー起源CO ₂ 発生量20%減 (4732 t / CO ₂)。					
	その他のス					

(2) 削減目標 (令和12(2030)年度まで)

計画期間		令和8 (2026)	年度	～	令和12 (2030)	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量 5915	t-CO ₂	基準となる原単位 0.5608	t-CO ₂ /	
	平成16年から平成18年のエネルギー起源CO ₂ 発生量平均値 (5915 t / CO ₂) に対し、令和8年から令和12年の5年間累計エネルギー起源CO ₂ 発生量20%減 (3785t / CO ₂)。					
	その他のス					

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

		基準年度	計画期間					7年度 (2025)
		年度	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	
エネルギー起源CO ₂	目標		4,732	4,732	4,732	4,732	4,732	
	実績		2,613	2,364	2,293	3,180	3,567	
前年度比 (%)			—	90.4%	97.0%	138.6%	112.1%	0.0%
基準となる排出量に対する削減率 (%)								
非エネルギー起源CO ₂	目標							
	実績							
メタン	目標							
	実績							
その他ガス 一酸化二窒素	目標							
	実績							
その他ガス ハイドロフルオロカーボン	目標							
	実績							
その他ガス パーフルオロカーボン	目標							
	実績							
その他ガス 六フッ化硫黄	目標							
	実績							
その他ガス 三フッ化窒素	目標							
	実績							
温室効果ガスの合計		目標	4,732	4,732	4,732	4,732	4,732	0
		実績	0	2,613	2,364	2,293	3,180	3,567

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

			基準年度	計画期間				
			年度	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)
エネルギー起源CO ₂ 排出 量原単位	目標		0.5658	0.5658	0.5658	0.5658	0.5658	0.5658
	実績	0.0000	1.8922	2.4908	1.0507	0.4011	0.3845	
前年度比 (%)			—	131.6%	42.1%	38.1%	95.8%	
基準となる排出量に対する削減率 (%)								
活動規模の 指標	指標名	単位						
	出荷額	百万円/年	10,455	1,381	949	2,182	7,929	9,277

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策名称	内容	実施時期	備考
1	照明設備	個別照明器具のLED化	H28から老朽交換時に随時実施	工場・倉庫・事務所の主要部分は実施済み。
2	空気調和設備・換気設備	個別空調機の省エネタイプへの更新	老朽交換時に実施	
3	生産設備	生産設備入れ替えを含む生産品目変更	2021/04から2023/06	2023/07再稼働
4	空気調和設備・換気設備	生産設備入れ替えを含む生産品目変更に伴う工事中の区画の空調停止	2021/04から2023/06	2023/07再稼働
5				

5 市内のその他事業所等の所在地

	事業所等の名称	事業所等の所在地
1		
2		
3		
4		
5		